

■千駄木小学校 3年 外国語「Unit3 How many? 数えてあそぼう」

授業のねらい

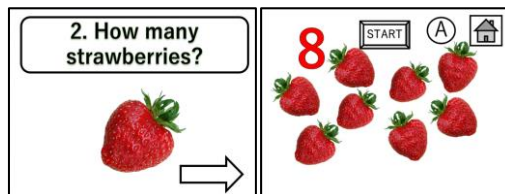
○数を尋ねる表現に慣れ親しみ、数を尋ねたり答えたりして伝え合う。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

●PowerPoint スライドの一例

①PowerPoint のスライド提示

授業の序盤に PowerPoint のスライドを提示し、数を尋ねる表現に慣れ親しませてから、主活動に繋げた。



②ミライシード「オクリンク」で作成した問題を出し合う。

事前に課題で、身の回りにある数えられるものを見つけて、オクリンクのカードを作成させておいた。ペアで問題を出し合った後、全体で困ったことはないかを確認し、ペアを変えて再度活動に取り組ませた。本時では、オクリンクで写真を撮ること例1や手描きの絵例2、●や▲などの図形の挿入例3を紹介して、英語を書かずに表現できるようにした。

<会話例>

出題者：How many (glue sticks)?

【カード1枚目】

回答者：(Nine) (glue sticks).

【カード2枚目】

出題者：Yes. / That's right. / No. / Sorry. 【カード3枚目】

●児童のカード例1 (写真)



●児童のカード例2 (手描き)



●児童のカード例3 (図形)



児童の様子

○4クラスで授業を行ったが、どのクラスもタブレット端末の操作は問題なくできていた。

○図形や写真で問題をつくるため、英語を苦手と感じている児童でも取り組みやすい活動になった。また、保護者の許可を得た上で家にある物の写真を撮るなど、児童が作成したい問題を創意工夫できるようにしたことで、意欲的に取り組む様子が見られた。

成果

○授業開始前にタブレット端末を起動してバックに入れさせたことで、円滑に活動を始めることができた。また、タブレット端末を使用する際に、キーボードを取り外し、画面のみでできるようにしたことで、持ち運びの負担を軽減できた。

○導入で、児童に親しみのあるものについて、アニメーションを使って数を当てる問題を出題したことで、児童の関心をもたせつつ前時までの表現を復習できた。また、数秒間、出題されたものが動いて表示されるアニメーションを使ったことで、より活動に集中して取り組ませることができた。

課題

○タブレット端末・宿題忘れなどにより、活動に必要な準備ができない児童には、画用紙を3枚渡して、手書きで問題をつくれるように準備した。しかし、活動時間を確保するためには、事前準備を確認する必要がある。専科として他クラスの状況を確認するためには、学級担任との協力が必要である。